

広報・社会連携

広報活動により神戸大学のブランディング強化やステークホルダーへの発信を戦略的に行い、基金活動の強化にも繋がります。また、地域との連携を密にすることで、社会への貢献に寄与します。

TOPIC

「神戸大学基金」について、活動の基本方針の見直しを行い、安定した基金の獲得に向けて、取り組みを継続・強化しています。

(→P.174「基金活動の強化戦略」)

広報目標：

戦略的かつ包括的な広報活動を通じて、大学のレピュテーションを構築・管理し、神戸大学のブランディングに寄与する。

広報戦略の展開

一般広報

ステークホルダーに届く広報
ブランディングの確立
愛校心を育てる仕組み作り

国際広報

海外ステークホルダーを拡大する
本学の強みと今を届ける情報発信
ブランド力と認知度を高め
世界中から優れた人材を獲得

連携・情報の共有

入試広報

向上心の高い学生に届く広報
優れた教育研究を
学問の探究について学ぶ
高校生に届ける

部局広報

重点企画

重点テーマとコアコンセプトの作成 (2022-24)
大学活動の可視化 (2022-30)
ウェブサイトリニューアル (2022-24)
プレスリリース制度の改善 (2022-23)

成長企画

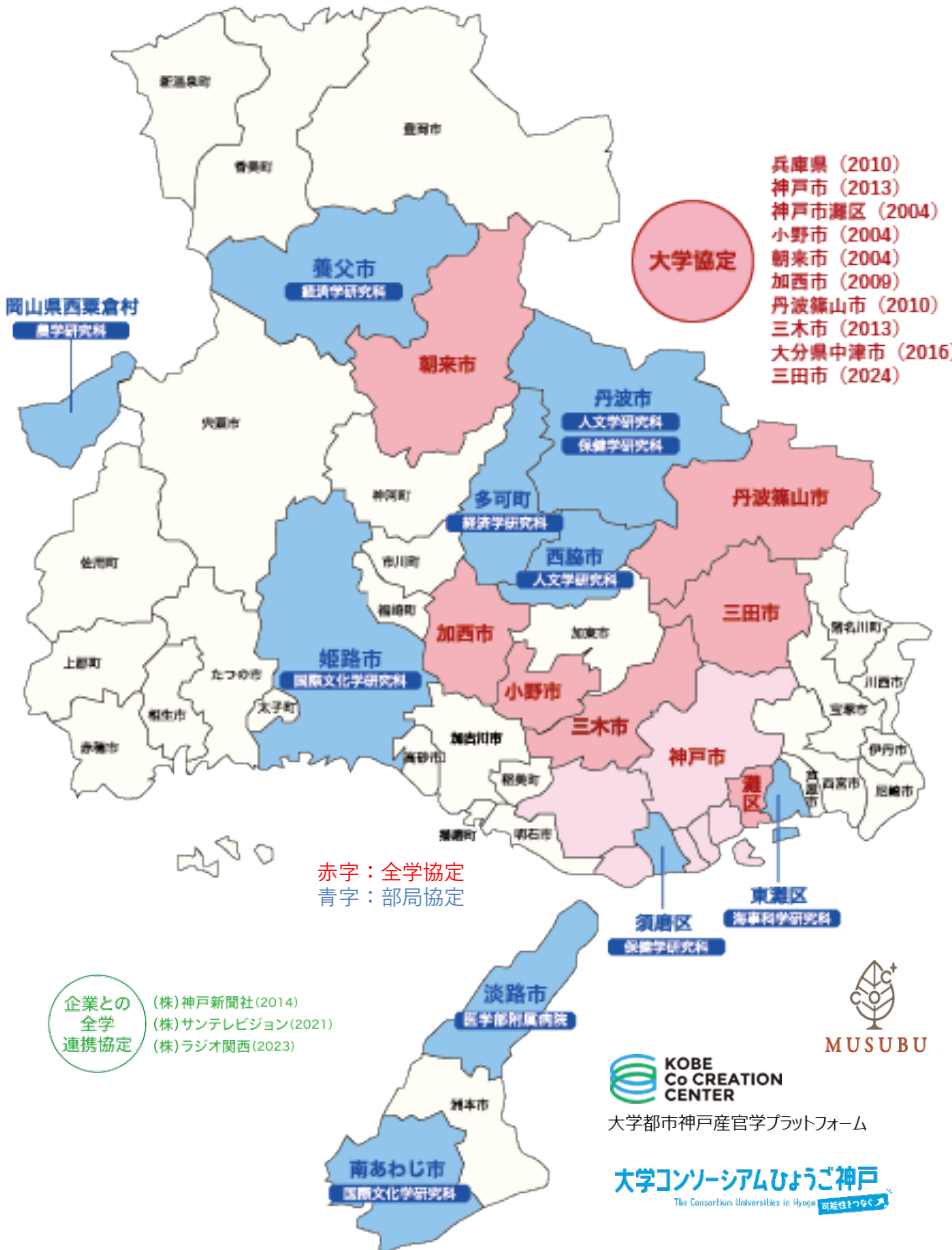
学生を巻き込んだ広報活動 (2022-30)
メルマガ配信システムの改善 (2024)
ステークホルダー分析 (2022-24)
ブランディングの設定 (2022)
学内コミュニケーションの強化 (2022-23)
広報活動の評価測定 (2022-30)

未来企画

学生・教員の情報発信力を強化 (2023-30)
映像作成の強化、SNSの見直し (2023-25)
ビジュアルブランドのレビュー (2023-25)
学生の愛校心強化 (2023-30)
印刷物の見直し (2023-24)

「広報戦略」では、大学が直面している課題を特定して、克服するために一貫した広報活動を実現していきます。

異分野共創型の地域連携事業の展開構想 ～地域連携推進本部の主な取り組み～



取組 1 自治体等との連携事業推進・協定締結

大学協定…大学全体として連携事業を推進（9自治体、3企業）
部局協定…締結部局が中心となり連携事業を推進
自治体からの外部資金獲得

取組 2 公募による学内部局・教職員・学生への地域連携支援

「地域連携事業（組織型）」…全部局対象の経費助成
「地域連携事業（個人型）」…教職員向けの経費助成
「学生地域アクションプラン」…学生向けの経費助成
「大学と連携したまちづくりチャレンジ事業助成（灘区）」

取組 3 地域連携プラットフォームへの参加

大学コンソーシアムひょうご神戸
ひょうご神戸プラットフォーム (COC+)
大学都市神戸 産官学プラットフォーム (神戸市)

取組 4 地域創生に資する人材育成

共通教育科目…ひょうご神戸学、地域社会形成基礎論の開講
『地域づくりの基礎知識』シリーズの活用、全国に普及

取組 5 ボランティア・社会貢献活動への支援

ボランティア団体への支援…ボラカフェ開催、物品貸出、相談
学生ボランティアサポート…ボランティア活動経費助成
登録ボランティア紹介冊子『地域に出る』の刊行と配布
ボランティアと社会貢献活動の開講

地域連携プラットフォームによる組織連携



自治体、地域の大学との組織連携を推進することで
ひょうご神戸の中核大学として地域活性化に貢献

大学コンソーシアム ひょうご神戸



(ひょうご産官学連携協議会)

県下大学による教育研究コンソーシアム

- ・地域の活性化に資する人材育成連携
- ・ひょうご神戸の国際性を生かしたグローバル教育支援
- ・県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供
- ・県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築

大学

31大学・7短大・
1高専

自治体

兵庫県・神戸市等

経済界

兵庫県商工会連合会
兵庫県中小企業家同友会
兵庫県中小企業団体中央会

本学の参画状況

教育連携委員会委員長、国際交流、学生交流、キャリア、高大連携、FD・SDの委員会に参加

大学都市神戸 産官学プラットフォーム (R5年度設立)



市内大学と産業界による産官学連携プラットフォーム

- ・優秀な外国人留学生獲得
- ・大学カリキュラムとインターンシップ・就職活動との接続
- ・SDGsと連動する地域の課題解決
- ・大学教員や大学院生による出前出張研究室
- ・大学発ベンチャーの育成
- ・高等専門学校との連携
- ・企業法務担当者と法律を学ぶ学生との連携
- ・大学交流拠点（三宮センタープラザ）

12の神戸市内大学・短大・高専

神戸市

損害保険ジャパン・三井住友銀行・N
T T西日本など40社

発起大学として産官学連携プロジェクトを実施

地域創生に定める 実践力養成のための ひょうご神戸プラットフォーム



本学が採択された文科省「地（知）の拠点大学
による地方創生推進事業(COC+)」の実施主体

- ・人材育成教育プログラムの開講
ひょうご神戸学／地域社会形成基礎論
- ・連携協議会を定期開催し、情報交換

兵庫県立大学・神戸市看護大学・
園田学園女子大学

兵庫県・神戸市

神戸商工会議所・兵庫県経営者協会・
兵庫工業会・神戸新聞社

主幹大学として大学間連携の推進

SDGs推進による社会連携の強化

「学理と実際の調和」という理念のもと、現状及び未来社会の課題を解決するための新たな価値の創造を通じて、SDGsへ貢献。

国際協力

現場との強い連携

- 国際協力研究科
(JICA 開発大学院連携プログラム)
- 国際協力機構 (JICA) との包括連携協定に基づく連携事業
- 学術交流協定 (64ヶ国、375大学・研究機関)
<https://www.office.kobe-u.ac.jp/ipiep/partners.html>

新しい技術・産業・社会の創出

- イノベーション創出 (全学部・大学院・その他施設)
- データ戦略の推進
- 異分野共創研究推進
 - ▶ グローバル課題、環境課題への行動
 - ▶ 価値を創造し産業界にメッセージを発信
 - ▶ ビジネス (社会実装) モデルの構築

教育と政策提言

- 異分野共創研究教育グローバル拠点
- アントレプレナーシップセンターを含む価値創造教育 (SDGs関連スタートアップ育成)
- PBL (Project Based Learning) や PoC (Proof of Concept) による実践的教育を通じた社会課題の解決
- リカレント教育
- ESG投資に向けたSDGs経営教育

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

本学の取り組み ▶ <https://www.sdgs.kobe-u.ac.jp/>

地域・自治体との連携

- SDGsフォーラム開催による連携と交流の場の提供
- 神戸大学SDGs研究交流会を通じた産官学連携行動の実施
- 神戸市との包括連携協定に基づく様々な連携と神戸ビジョン2025への協働的な取り組みの実施
- 地域企業との連携によるSDGs行動
- 2025大阪・関西万博への積極参加

人・学生アンバサダー

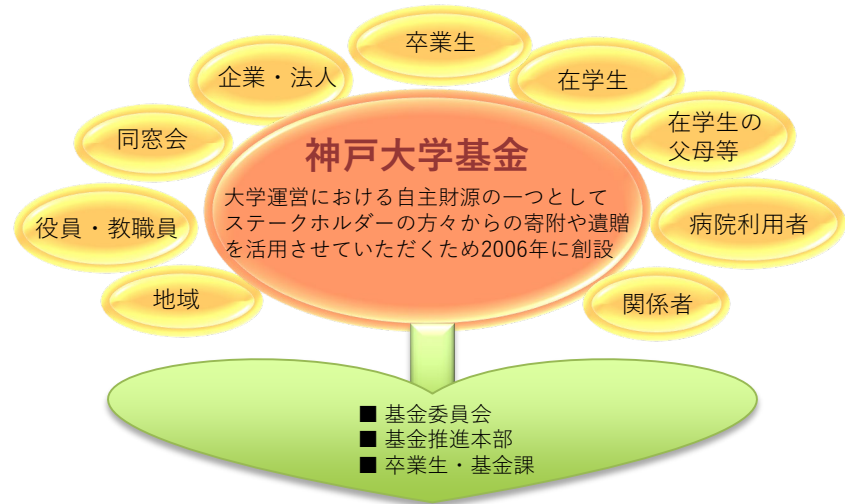
- JICAを通じた協働活動
- NPO法人アイセック・ジャパンを通じた協働
- ダイバーシティ&インクルージブキャンパス (男女共同参画)
- 神戸大学環境会議創設 (学生主導の政策提言とPDCA)

基金活動の強化戦略

～安定した基金の獲得に向けた強化戦略～

神戸大学では特徴のある研究をリードし、社会の課題解決に貢献すると共に、世界・地域で活躍できる優秀で多様性に富む人材を輩出し続けるための財政的支援を継続している。その財源の一つである神戸大学基金は、積極的な募金活動を推進すると共に、活動を通じて、より多くのステークホルダーが大学への理解を深め、サポーターとして定着・純増することを目指す。

【2023年度実績】		寄附受入額：9億8百万円
〈内訳〉	120周年記念基盤事業 (使途特定記念事業を含む)	1億9千9百万円
	修学支援事業	3千6百万円
	特定の目的を持つ各種の事業	6千8百万円
	寄附者名称記念事業	1千2百万円
	寄附講座	5億9千3百万円



継続・強化していく取組

- 既寄附者に対する情報提供を継続した依頼活動
- 「神戸大学人の集い」や「企業トップとの懇談会」等を通じた大学への理解と基金への支援を受けるための依頼活動
- 大学の広報戦略と一体化した活動
 - ・基金活動報告書を通じた各方面への情報発信
 - ・KU-Netや広報誌「風」等を利用した広報の多様化
 - ・「課外活動団体OBOG会連合会」を通じた寄附への働きかけ
 - ・クラウドファンディング及びネーミングライツの積極的な学内周知
 - ・遺贈寄附の推進に向けた活動と金融機関との連携
 - ・基金フェロー制度における新たな取組
 - ・同窓会機関誌への寄附依頼状同封
 - ・基盤事業強化費率の見直し
 - ・現役学生に対する支援の拡大と神戸大学基金の認知度の向上



取組成果

- 学内教職員からの寄附の増加
- 未寄附者卒業生からの寄附の増加
- 公認課外活動団体への寄附受入の増加
- 遺贈の拡大
- 企業等からの寄附の継続
- 基金フェローの増加
- 基盤事業強化費の増加
- クラウドファンディングの実施件数の増加
- ネーミングライツの契約件数の増加

【課題】

- ・教職員が丸となった寄附の周知・依頼・協力を行う体制の構築
- ・校友会及び各学部別同窓会との連携による卒業生等への寄附依頼体制強化
- ・創立120周年記念募金の募集期間終了(2024年3月末)以降の寄附者からの寄附受入額の維持

など

神戸大学出版会

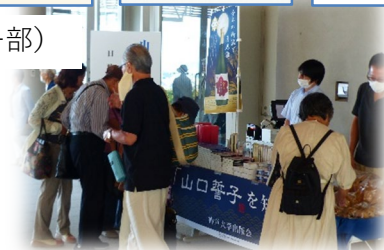
【多様・多彩な出版実績】

- 専門書の出版
- 教科書の出版
- 地域連携事業成果の出版
- 啓蒙書（一般向・中高生向）の出版
- シンポジウム記録等の出版

社会への知の還元



最新刊（一部）



山口誓子講演会での書籍販売

出版会を活用した社会還元

出版会の現状

- 2017年4月1日設立
- 既刊31冊 累計販売数8500冊以上
- ▶ 2023年度6冊刊行
 - 『地域金融機関による企業支援の新しい展開』
 - 『未来を拓く ESG 地域金融』
 - 『日英対訳で読みひらく新しい日本文化史』
 - 『価値の創造を考える 2022年度V.School〜』
 - 『価値という思考(VS Booklet 2)』
 - 『グラフィカルな表現法による複雑現象の理解』
- ▶ 2024年度前期 2冊発行
 - 『幸せとは何か？最適な人生のを見つけ方』
 - 『孫文 華僑 神戸』

出版会の課題

- 出版会の体制整備
- 専任編集者の確保
- 販売ルートの拡充
- 販売促進
- 出版会出版基金の拡充
- 各種出版助成の獲得
- 安定的な出版原資の確保
- 電子出版等への対応
 - ⇒ 『幸せとは何か？』電子書籍同時発行

出版会の目指す方向

- 出版物デザイン・内容の向上と維持
- 出版企画作成支援
- 大学の知を集約し、研究を推進するとともに、それを社会還元する継続的な出版物（シリーズ）の企画・刊行
- 紙とインクによる制作を継続するとともに、DX時代の出版形態も検討
- 同窓会/広報担当等との連携推進

大学の発展とプレゼンス・ブランド価値向上 世代・地域を越えたコミュニティ発展を目指して

神戸大学創立120周年を機に設置した「神戸大学校友会（KU-Alumni）」を本格稼働させ、各学部等同窓会、卒業生、在学生、教職員、在学生の父母等の連携をさらに密にし、**One Kobe Family**としての活動を展開する



神戸大学校友会が取り組む主な事業

“One Kobe Family”として絆を強化する事業

- ・ロゴマーク制定
- ・One Kobe Familyイベント（総会、新入生歓迎イベント）
- ・会員証の発行
- ・オリジナルグッズ制作 など

大学と会員、会員相互の交流・親睦を促進するための事業

- ・ホームカミングデイ等への共催
- ・東京オフィスの活動に対する広報支援

学生、生徒等校友会会員を支援するための事業

- ・六甲祭、学生表彰への支援
- ・各種施設利用特典の導入

学部等同窓会・校友会支部等への協力事業

- ・校友会ニュースレターの発行等広報活動
- ・学部等同窓会会費の徴収業務代行

2030年までのロードマップ

	第4期						第5期
	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028～2030年度
広報機能の強化	Webサイトリニューアル						大学のプレゼンス向上のための持続的な広報体制の確立
	学生・教員の情報発信力を強化						
	大学の活動を可視化						
異分野共創型地域連携事業の展開	包括連携協定の締結（新規6件）						異分野共創型の地域連携の全国的モデルの形成
	新規地域連携拠点の拡大（新規24件）						
	地域連携推進プラットフォーム（ひょうご神戸プラットフォーム）の強化						
リスクリングを中心としたリカレント教育	学内リソースの収集・活用、校友会との連携による潜在的ニーズの把握						
基金活動の強化	120周年募金の展開		基盤事業への募金及び支援の強化				世界・地域に貢献できる研究支援と人材育成支援のための基金構築
	遺贈についての提携拡大と広報体制充実			OBOGへの働きかけ強化 ネーミングライツとクラウドファンディングの強化			
	出版会の体制整備		出版会の財政的な基盤確立と大学の知を集約し、社会的に発信できる出版体制の強化				
	同窓生・教職員・多様な大学関係者の交流組織の充実						
出版会等を活用した教育・研究の強化と社会的還元	同窓生・教職員・多様な大学関係者の交流組織の充実						
同窓会を基盤とした社会貢献機能の強化	生涯メールアドレスの導入	校友会設立					One Kobe Familyとしての活動展開、校友会の事業拡大